

平成24年度事業報告

概 況

厚木市シルバー人材センターは、昭和52年に神奈川県下各市町村に先駆け高齢者事業団の発足に始まり、次いで平成元年に社団法人として法人化し、さらに昨年公益社団法人に移行し、設立以来36年を迎えることとなります。

この間、厚木市を始め、市民の方々などからの御支援、御協力により高齢者の生きがいの充実等福祉の増進並びに社会参加の推進を図り、活力ある地域社会づくりに貢献するとともに、会員自らがセンターの組織活動や就業活動に積極的な参加により事業展開してまいりました。

一方、事業実績では、国内外の経済状況などの影響を受け、契約金額は下降、上昇を繰り返し、平成23年度には個人・家庭や公共団体からの新規受注により、6年ぶりに4億円に到達しましたが、平成24年度は国による緊急雇用対策事業の廃止や民間事業所からの請負による就業形態の再確認により大幅な減収となりました。

平成24年度の契約金額は363,389千円、会員数は1,072人、就業実人員は1,080人、就業率は100.74%で、引き続き、個人・家庭を中心に受注の拡大に努めた結果、受託件数は4,311件で過去最高の実績を上げることができました。

このように、個人・家庭からの受注の拡大は、センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」を念頭に、幅広い支援機能を備え活力ある高齢社会を支える地域の中核団体として、会員、役員等が一体となり地域に密着した公益目的事業を着実に推進した成果であります。

また、平成20年3月に定めた「中・長期基本計画」の前期実施計画の最終年度である平成24年度に、過去5年間の事業進捗状況の評価、検証とともに、社会経済情勢の変化等を考慮に見直しを行い、新たに今後5年間の「後期実施計画」を策定しました。

事業実績	平成24年度	平成23年度	増 減	前年度比
契約金額	363,389千円	404,229千円	△40,840千円	△10.1%
受託件数	4,311件	4,162件	149件	3.6%
会員数	1,072人	1,157人	△85人	△7.3%
入会率	1.71%	1.90%	△0.19ポイント	—
就業実人員	1,080人	1,107人	△27人	△2.4%
就業率	100.74%	95.67%	5.07ポイント	—
就業延人員	87,175人日	91,737人日	△4,562人日	△5.0%

※ 就業実人員 1,080人(年度内退会者106名含む)

実 施 報 告

健康で働く意欲のある定年退職者等の高年齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会を確保し、生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り地域社会づくりに貢献するため、次の計画の視点に基づき検討、実施しました。

1 会 員 の 増 強

発注者の多様化するニーズに的確に対応するため、需給バランスを考慮しながら、主に個人・家庭の職種に従事する会員の募集を行い、会員の増強に努めましたが、病気、加齢等による退会者の増加により会員数は減少しました。

- (1) 会員による口コミ、当センター会報やホームページ、さらには、技能講習会やイベント会場における会員募集
- (2) 地域班との連携による会員募集
- (3) 技能系会員募集

担当委員会	具体的検討及び実施項目
総 務	<ul style="list-style-type: none">・ 個人・家庭の職種を主とした会員募集 「勧誘のしおり」リーフレット化及び全会員への周知徹底 (リーフレット配付(地域班会議時)及び公共施設配架) 職種別会員新規入会者 植木剪定、除草、襖張り、家事援助等 計 166人(男 118人、女 48人)
広 報	<ul style="list-style-type: none">・ 会報「年輪」及びホームページ記事掲載

2 受 注 の 強 化

長引く経済不況がセンターの受注量に影響を及ぼしている中で、会員役員等が一体となり効果的な広報活動等を展開し、主に個人・家庭から植木剪定、襖張り、家事援助等業務の受注の強化に努めましたが公共及び民間の大口契約の解除等により契約金額は減少しました。

(1) 受注用チラシの配付及び新規受託事業の就業開拓

担当委員会	具体的検討及び実施項目
業務開拓・地域活動	・ 受注用チラシの配付 第1回 参加人数 568人 配付部数 80,000部 第2回 参加人数 551人 配付部数 80,000部
業務開拓	・ 新規受託事業の就業開拓 「ポスティング事業」の検討

(2) 一般労働者派遣事業の実施

センター事業の範囲内で雇用形態の働き方となる一般労働者派遣事業について、新規に公社及び民間から計2件受注することができました。

(3) 顧客満足度調査の結果による就業改善と受注拡大

平成23年度に個人・家庭を対象に実施した調査結果による発注者の意向を踏まえ、親切・丁寧な市民サービスの向上に取り組み、受注拡大を図りました。

(4) 福祉関係分野の検討

平成23年度に市内一部地区を対象に実施した「買物難民支援」に関する調査結果を踏まえ、厚木市が推進する安心政策に基づく高齢者福祉サービスの充実について検討しました。

(5) SP事業への積極的な参画

高齢者の就業支援に資することを目的とするSP事業(シニアワークプログラム地域事業(神奈川県シルバー人材センター連合会主催))について、職場体験を実施しました。

ア 襖 張 り

期 日 平成24年9月21日(金)

場 所 生きがいセンター

参加人数 14人

イ 草刈（機械）

期 日 平成24年10月24日（水）

場 所 猿ヶ島野球場

参加人数 8人

ウ 植木剪定

期 日 平成24年10月30日（火）

場 所 相模川汚泥貯留地

参加人数 8人

(6) 独自事業の充実

「正月用しめ縄飾り製作・販売」、「刃物とぎ」、「火災警報器取付販売」の各事業の充実を図り、主に個人・家庭からの受託事業の受注拡大に努めました。

3 就業体制の強化と安全就業の徹底

発注者からの業務に迅速、柔軟に対応できる体制の整備のため、会員の情報を最新にするために実施した調査を踏まえ、会員の増強に努めるとともに会員の資質、技術等の向上などにより、就業体制の強化を図りました。

また、厚木市のセーフコミュニティの認証を踏まえ、会員の「事故ゼロ」の実現に向けて、会員で組織された安全管理委員会を中心に安全就業に係る指導等により安全意識の高揚を図り、安全就業の徹底に努めました。

(1) 会員の資質向上のための研修会の開催

ア 接遇研修会（既存会員）

期 日 平成24年4月～平成25年3月（年12回）

場 所 勤労福祉センター

参加人数 471人

イ 接遇研修会（入会申込者）

期 日 平成24年4月～平成25年3月（年12回）

場所・内容 生きがいセンター

参加人数 203人

担当委員会	具体的検討及び実施項目
総務	<ul style="list-style-type: none"> 接遇体験講話の実施(接遇研修会時(入会申込者)) 年7回(9月から実施) 参加人数 97人

(2) 会員の技術、技能向上のための講習会の開催

ア 植木剪定講習会

期 日	平成24年4月2日(月)・5日(木)
場所・内容	元町・技能向上、安全就業(新人研修)
参加人数	4人
期 日	平成24年7月9日(月)・10日(火)
場所・内容	妻田東・技能向上、安全就業(新人研修)
参加人数	5人

(3) 一般市民を対象とする技術、技能講習会の開催

※ 上記、SP事業職場体験(襖張り、草刈(機械)、植木剪定)

(4) ローテーション就業とワークシェアリングの徹底

継続的な業務の長期就業を是正するため、仕事の配分基準に基づき未就業会員やセンター事業に積極的に参加した会員への提供を優先に適正就業を推進しました。

(5) 受注情報の提供と就業相談日の実施

未就業会員の解消を図るため、地域班会議やホームページで受注情報を提供するとともに、毎月第3水曜日に就業相談日を実施し就業率の向上に努めました。

(6) 「安全・適正就業強化月間」の設定と関連事業の実施

(7) 事故及びヒヤリハットの原因分析と再発防止策の検討

(8) 安全就業、交通安全意識啓発のための講習会の開催

(9) 安全ニュース(会報)の発行

(10) 健康診断受診の啓発

担当委員会	具体的検討及び実施項目																				
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 「安全・適正就業強化月間」の設定と関連事業の実施 安全パトロールの実施 巡回延べ6回(6箇所) 安全指導や講習会の充実 接遇研修会 <table border="0"> <tr> <td>既存会員</td> <td>12回開催</td> <td>参加人数</td> <td>471人</td> </tr> <tr> <td>入会申込者</td> <td>12回開催</td> <td>参加人数</td> <td>203人</td> </tr> <tr> <td>交通安全講習会</td> <td>1回開催</td> <td>参加人数</td> <td>531人</td> </tr> <tr> <td>応急処置講習会</td> <td>2回開催</td> <td>参加人数</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>運転適性検査講習会</td> <td>1回開催</td> <td>参加人数</td> <td>24人</td> </tr> </table> 安全ニュースの発行 年3回・会報「年輪」、年1回・特別号 健康診断受診の啓発 	既存会員	12回開催	参加人数	471人	入会申込者	12回開催	参加人数	203人	交通安全講習会	1回開催	参加人数	531人	応急処置講習会	2回開催	参加人数	32人	運転適性検査講習会	1回開催	参加人数	24人
既存会員	12回開催	参加人数	471人																		
入会申込者	12回開催	参加人数	203人																		
交通安全講習会	1回開催	参加人数	531人																		
応急処置講習会	2回開催	参加人数	32人																		
運転適性検査講習会	1回開催	参加人数	24人																		

4 組織体制の強化と会員組織の強化

公益社団法人として地域に密着した事業を展開し、社会貢献するため組織体制の構築に伴う後期実施計画を策定するとともに、会員による主体的な活動及びセンターの事業運営等への積極的な参画を推進するため「地域班」及び「職種班」の各組織の充実等活性化を図り、会員組織の強化に努めました。

(1) 中・長期基本計画の見直し、後期実施計画の策定

担当委員会	具体的検討及び実施項目
中・長期基本計画推進	<ul style="list-style-type: none"> 中・長期基本計画の見直し、後期実施計画の策定 前期計画の評価、検証 後期計画策定 (基本視点、目標値、具体的構成事業等)

(2) 職員の専門知識のレベルアップのための各種研修、講習会への派遣

事務局職員が専門知識を習得するため、厚木市等が主催する各種研修会等に派遣し、資質の向上を図りました。

(3) 事務事業の効果的、効率的な執行体制の検討

事務局機能を強化するため、総務係及び業務係の情報の共有化により事務事業の執行体制の合理化、省力化を図りました。

(4) 地域班活動の充実

担当委員会	具体的検討及び実施項目
地域活動	<ul style="list-style-type: none">地域班活動の活性化 リーフレット「地域班の役割とその活動」の活用 (接遇研修会時(入会申込者)) 副班長制度の設置(要綱見直し)地域班会議の開催 第1回 参加人数 531人 出席率 45.3% 第2回 参加人数 586人 出席率 51.2%

(5) 新規職種班設置の検討

担当委員会	具体的検討及び実施項目
業務開拓	<ul style="list-style-type: none">職種班設置の整備(要綱見直し) 管理群(施設管理)、サービス群(家事援助) 技能群(植木、襖)、一般作業群(除草)職種班会議の開催 植木班会議 1回開催 参加人数 29人 除草班会議 1回開催 参加人数 49人

5 財政基盤の強化

国等の財政支援の削減及び景気の低迷等に起因する受注量の減少により、センターの財政状況に影響を及ぼしている中で、現行の事務事業の再点検を行い、財政基盤の強化を図りました。

(1) 公益法人会計基準に基づく会計処理

公益社団法人移行に伴い、今まで以上に会計基準に準拠した会計処理を励行しました。

(2) 業務執行体制の検討

会員自らが事業運営等に参画できる体制づくりの一環として、職種班設置の整備等により、効果的、効率的な業務執行に取り組みました。

(3) 人件費の抑制

事務局職員の時間外勤務を引き続き削減するほかに、臨時職員を見直すとともに、人件費を抑制し有効に活用しました。

(4) 経常経費の削減

会員の傷害保険及び賠償責任保険に係る業者を見直し、保障額を下げることなく、経常経費の削減を図りました。

(5) 理事会、委員会の開催の在り方についての検討

理事会の活性化はもとより、担当理事が所属する委員会との横断的な連携により開催回数を削減し、委員会実施計画を効果的に実行しました。

(6) 厚木市を始めとする関係機関との連携強化と受注の拡大

厚木市等の行政機関や外郭団体と定期的な交流により連携を深め、新規受託事業の開拓について検討しました。

6 そ の 他

(1) ボランティア活動の実施及び支援

公益社団法人移行に伴い、センターが地域社会との共生をとおして社会貢献するため、ボランティア活動を実施し社会的意義をアピールしました。

ア 「一日奉仕の日」

期 日	平成24年7月28日(土)
場所・内容	厚木中央公園・除草清掃
参加人数	320人 ※ 前年度150人

イ 「事業普及啓発促進月間」の設定と関連事業の実施

(ア) 「シルバーの日」

期 日	平成24年10月21日(日) ※ 基準日前後週間
場所・内容	公共施設等・除草清掃
参加人数	142人(7地域班) ※ 前年度105人(5地域班)
期 日	平成24年11月1日(木)～30日(金)・一部10月実施
場所・内容	市内全域・第2回受注用チラシ配付(ポステイング)
参加人数	551人(17地域班) ※ 前年度363人

ウ 会員と市民の相互交流

期 日	平成24年12月25日(火)
場所・内容	七沢自然ふれあいセンター・正月用しめ縄飾り製作実演
参加人数	34人(会員4人(講師)、市民30人)

(2) 無料職業紹介事業

臨時的・短期的な就業及び軽易な業務で、雇用による就業を希望する高齢者に、引き続き、無料による職業紹介の窓口を開設しましたが、利用者はありませんでした。

(3) 情報の開示と個人情報の保護

事業運営上必要となる会員及び発注者の個人情報については、個人情報保護規程に基づき適正に取り扱うなど法令遵守を徹底するとともにその他の保有する情報についてはその開示に努めました。

(4) 会報誌の発行

会報誌「年輪」を広報委員会の取材編集活動のもと、センター事業や会員の就業内容紹介など、最新情報の発信として年3回発行しました。

(5) ホームページの充実

センターの情報公開を目的に開設しているホームページを利用者の利便性を考慮に、広報委員会で内容の充実を図りました。

(6) 調査研究事業

全国シルバー人材センター事業協会、神奈川県シルバー人材センター連合会等の団体が主催する研修会や講習会に参加し、情報の収集とセンター事業に係る専門知識の習得に努めました。